



Knowledge Innovation Award 9th.

ナレッジキャピタル部門
応募要項

Knowledge Innovation Award 9th.

第9回 ナレッジイノベーションアワード

【ナレッジキャピタル部門】

開催概要

グランフロント大阪の中核施設ナレッジキャピタルでは、ミッションである「産業創出」「人材育成」の一環として、当アワードを開催しています。ナレッジキャピタルから生まれるアイデアによる「ナレッジイノベーション」の具体的な成果を広く社会に発信する取り組みです。ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を評価する「ナレッジキャピタル部門」、中高生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成してます。多彩な選考委員による審査を経て、グランプリ並びに各賞を決定いたします。

主催	一般社団法人ナレッジキャピタル
選考委員	<p>〈選考委員長〉</p> <p>河口 洋一郎 東京大学名誉教授/アーティスト/一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長</p> <p>〈選考委員〉 ※順不同</p> <p>村上 憲郎 村上憲郎事務所 代表/元Google日本法人 名誉会長</p> <p>遠藤 諭 株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員</p> <p>塩瀬 隆之 京都大学総合博物館准教授/デザイン学ユニット/学術研究支援室 参与</p> <p>伊藤 恵理 東京大学大学院工学系 准教授</p> <p>安田 洋祐 経済学者/大阪大学大学院経済学研究科 准教授</p> <p>一色 さゆり 小説家</p>

<応募要項>

【応募資格】

ナレッジキャピタル参画者(The Lab.、コボオフィス、コラボオフィスnx、フューチャーライフショールーム、ナレッジオフィスの入居者、出展者)、ナレッジサロン会員、ナレッジキャピタルイベント開催共催者における団体並びに個人

【応募対象】

2020年12月1日(火)～2021年11月30日(火)の期間にナレッジキャピタル参画者が展開(研究、開発、展示、実演、販売等)したコンテンツや活動であること。

【応募資料】 ※詳細項目に関してはエントリーシートをご覧ください

STEP1 基本情報の入力

STEP2 エントリーシートを下記記載の応募方法いずれかで送付

別途エントリーシートで使用した画像の元データ(jpg/tiff/png/bmpなど)

※エントリーシート内の項目の記入が必要です。

※複数作品を応募可能です。

※エントリーシートに作品の動画を添付することも可能です。(動画は1分以内かつmp4指定に限ります。)

【応募方法】

【メール】デジタルデータを送信

メールにてエントリーシート、使用した画像元データ、動画データをまとめたファイルをメールに添付、もしくは各種アップローダーにアップロードの上、URLをご送付ください。

※スキャンデータの場合、文字が読める解像度、濃さであることを事前にご確認ください。

※メールの件名に「ナレッジキャピタル部門応募」と記載ください。

※メールサイズは5メガバイト以内でお送りください。

(送付先)kia@kc-ijp

【郵送・持参】応募資料・データを封筒に入れて郵送・持参

エントリーシート、画像元データ及びシートの電子ファイルをまとめた記録媒体(USB、CD-Rなど、種類は問いません)を持参、またはご郵送ください。

※複数の作品を応募の際はフォルダ分けなどで判別可能なデータ及び名称を作成の上、ご応募ください。

(送付先)

ナレッジイノベーションアワード事務局

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708

(株式会社スーパーフェスティバル内) TEL: 06-6131-6881

【応募締切】 2021年11月30日(火)必着

※郵送の場合は30日(火)当日消印有効、
メールの場合は30日23:59まで受付

<応募要項>

ナレッジキャピタル部門

**プロダクト、プロジェクト、イベント、または社内での取り組みなど、
ナレッジキャピタル参画者の皆様の活動すべてが応募の対象となります。**

※ご応募いただいた内容は選考ならびにナレッジキャピタルの活動(参画者同士のコーディネート、マッチング支援、広報)、応募作品カタログ(OMOSIROI場等に設置)にも利用させていただきます。
機密情報を含む内容で、取り扱いに特に注意が必要な場合は事前にその旨ご連絡ください。

【選考基準】

下記の項目を含む、イノベティブな活動であること

※全ての要素を満たすことが必須ではありません。また、必ずしも発明や発見のあるプロジェクトの必要はありません。

- ・革新的なアイデアがある
- ・エンターテインメント性など人の心を強く掴む要素がある
- ・先端技術や技術改良などの工夫がある
- ・事業化の可能性が高い
- ・新しい組み合わせやコラボレーション要素がある
- ・世界的な広がりを感じる要素がある
- ・社会的影響力を持ち、社会変革の可能性がある
- ・デザインが優れている
- ・継続的な活動により、業績やイメージブランディング向上に寄与している

【選考の流れ】

1次選考

選考委員による書類選考

実施時期:2021年12月中旬予定

2次選考

1次選考を通過した作品を対象に
選考委員による選考

実施時期:2022年1月中旬予定

公開プレゼンテーション・最終選考会(予定) 2022年3月20日(日)

2次選考通過者による最終プレゼンテーション及び各賞の決定

※2次選考通過者の方は、プレゼンテーションのご準備をお願いいたします。

グランプリ等各賞 決定・発表

【発表について】

2022年3月20日(日)開催予定の「公開プレゼンテーション・最終選考会」にて
発表いたします。

開催場所:グランフロント大阪 北館4階 ナレッジシアター
(最終選考会後に公式ウェブサイトにて発表予定)

<応募要項>

【各賞について】

グランプリ 1点

- 成功への扉を開く鍵「サクセスキー・トロフィー」贈呈
- 貴社広報物に使用可能なアワード受賞ロゴの提供
- 選択式の副賞(いずれかひとつ選択)

〈A〉ほしいものチケット30万円相当

受賞した方の今後の活動を支援するため
「ほしいもの」を進呈する、未来応援チケットです。

〈B〉ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供(下記よりひとつ選択)

- ・カンファレンスルームの無料使用 6室 / 2022年度中有効
※1室を終日利用可能 例)B01+B02は2室分利用(利用時間は営業時間内であれば制限なし)
- ・ナレッジシアターの無料使用 1日 / 2022年度中有効
- ・イベントラボの無料使用 3日(設営・撤去含む) / 2022年度中有効
- ・アクティブスタジオ(The Lab.2階)の無料使用 1日 / 2022年度中有効

〈C〉選考委員(1名)との面談機会の提供

面談する選考委員は受賞者をご相談の上、選考委員のスケジュール等も考慮し、
面談の機会をご提供いたします。

準グランプリ 2点

- 成功への扉を開く鍵「サクセスキー・トロフィー」贈呈
- 貴社広報物に使用可能なアワード受賞ロゴの提供
- 選択式の副賞(いずれかひとつ選択)

〈A〉ほしいものチケット10万円相当

受賞した方の今後の活動を支援するため
「ほしいもの」を進呈する、未来応援チケットです。

〈B〉ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供(下記よりひとつ選択)

- ・カンファレンスルームの無料使用 6室 / 2022年度中有効
※1室を終日利用可能 例)B01+B02は2室分利用(利用時間は営業時間内であれば制限なし)
- ・ナレッジシアターの無料使用 1日 / 2022年度中有効
- ・カフェラボ(エキジビジョンスペース)の無料使用 1日 / 2022年度中有効

近畿経済産業局長賞 1点(予定)・優秀賞 3点

- 近畿経済産業局特製の表彰状 ※近畿経済産業局長賞のみ
- 成功への扉を開く鍵「サクセスキー・トロフィー」贈呈
- 貴社広報物に使用可能なアワード受賞ロゴの提供
- ナレッジキャピタルでの更なるご活躍の機会の「場」の提供(下記よりひとつ選択)

- ・カンファレンスルームの無料使用 6室 / 2022年度中有効
※1室を終日利用可能 例)B01+B02は2室分利用(利用時間は営業時間内であれば制限なし)
- ・ナレッジシアターの無料使用 1日/2022年度中有効
- ・カフェラボ(エキジビジョンスペース)の無料使用 1日/2022年度中有効

※いずれも、催し物開催時の実費に関しましては受賞者様でのご負担をお願いいたします。

※施設の使用に関しましては、施設の空き日程からご選択いただきます。

※使用用途(内容や主催者等)に関しましては受賞者と協議の上決定するものとします。

<応募要項>

【 注 意 事 項 】

- 応募内容は第三者の知的財産権等を侵害していないもののみとさせていただきます。
第三者からの権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、応募者が自らの責任で対応してください。主催者側では一切の責任を負いませんのでご了承ください。
また、第三者の知的財産権等の侵害が認められた場合、受賞結果発表後であっても受賞を取り消す場合があります。
- イベント風景の写真等を使用される場合は、肖像権等のご配慮をお願いいたします。
ご記入いただいたテキスト及び図版はナレッジキャピタルの広報活動等に使用させていただきます。
- 応募作品については公序良俗に反しない内容をお願いいたします。
- ご応募に關していただきました個人情報 は当アワードの目的以外に使用いたしません。
また、第三者に開示する事もございません。
- 応募作品は返却いたしません。USBメモリ等でご送付いただいた場合も返却いたしかねます。
- 他社が製造あるいは知的財産権を保有し、仕入れまたは委託販売などにより取り扱っているものに関しては対象外といたします。
- 応募者様のご所属、ご本人確認をさせていただく場合がございます。
- エントリーシートに記載の注意事項もあわせてご覧ください。
- エントリーされた作品に関しては、ナレッジキャピタルの活動において、参画者同士のコーディネート の資料などで使用する可能性があります。
また、ナレッジキャピタルが今後主催するイベントでの展示をお願いすることがございます。

ナレッジイノベーションアワード事務局

〒530-0011 大阪府北区大深町3-1

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル7階 K708

株式会社スーパーフェスティバル内

TEL : 06-6131-6881 (平日10:00~18:00) MAIL : kia@kc-ijp

【選考委員プロフィール】

[選考委員長]

河口 洋一郎

東京大学名誉教授 / アーティスト / 一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長

1970年代のコンピュータ・グラフィックス(CG)黎明期から研究・制作に着手し、CGの世界最大の国際大会であるSIGGRAPHの1982年大会における、自己増殖する造形理論「グロースモデル(The GROWTH Model)」の発表は、世界中からの参加者に会場でスタンディングオベーションを受け、絶賛を博した。2010年にはSIGGRAPHにおいて、CG界に長年にわたり大きく貢献し現在も活躍を続ける研究者・技術者・芸術家に与えられる、ACM SIGGRAPH Award : Distinguished Artist Award for Lifetime Achievement in Digital Art を受賞。2013年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。同年、紫綬褒章を受章。



[選考委員] ※順不同

村上 憲郎

村上憲郎事務所 代表 / 元Google日本法人名誉会長

1970年京都大学工学部卒業。工学士号を取得。2003年4月、Google Inc. 副社長兼Google Japan 代表取締役社長として Google に入社以来、日本における Google の全業務の責任者を務め、2009年1月名誉会長に就任。2011年1月1日付けで退任し、村上憲郎事務所を開設。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)主幹研究員・教授。大阪工業大学客員教授。会津大学参与。東京工業大学 学長アドバイザーボード委員。



遠藤 諭

株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員

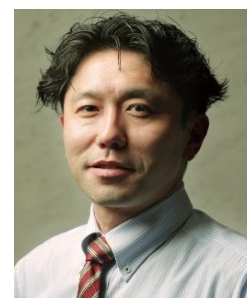
『月刊アスキー』編集長、アスキー取締役などを経て、2013年より現職。スマートフォン以降に特化したライフスタイルとデジタルの今後に関するコンサルティングを行っている。『マーフィーの法則』など単行本も手がけるほか、アスキー入社前には『東京おとなクラブ』を主宰。著書に『計算機屋かく戦えり』など。ASCII.jpほかで情報発信している。



塩瀬 隆之

京都大学総合博物館准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与

1998年京都大学工学研究科修了。博士(工学)。2012年から経済産業省に技術戦略担当課長補佐として出向。2014年7月に京都大学に復職。文部科学省中央教育審議会数理探究専門委員、経済産業省産業構造審議会イノベーション小委員会委員ならびに若手ワーキンググループ座長。日本科学未来館“おや？”つっこひろば総合監修。NHKテレ「カガクノミカタ」番組制作委員ほか。高齢者や障害のある人をものづくりプロセスにまきこむインクルーシブデザインワークショップや博物館、科学館のリニューアルワークショップなど多数監修。また科学的なモノの見方に関する学習ワークショップやオンラインワークショップを多数開催。主な著書に『問いのデザイン』(学芸出版社、2020)、『インクルーシブデザイン』(学芸出版社、2014)、『科学技術Xの謎』(化学同人、2010)など。平成29年度科学技術分野の文部科学大臣賞ほか受賞多数。



【選考委員プロフィール】

伊藤 恵理

東京大学大学院 工学系研究科 准教授

「空はひとつ」をモットーに、世界の空を駆けながら、航空管制および航空交通管理の研究に従事する科学者・エンジニア。東京大学大学院博士課程修了（航空宇宙工学専攻）。ユーロコントロール実験研究所（フランス）、オランダ航空宇宙研究所、NASAエイムズ研究所、海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所、南洋理工大学などでの研究職を経て、現職に至る。国際航空科学会議（ICAS）よりMcCarthy Award、John J.Green Award 受賞。著書に『空の旅を科学する 人工知能が拓く！？21世紀の航空管制』（河出書房新社）、『みんなでつくるAI時代 これからの教養としてのSTEAM』（CCCメディアハウス社）がある。アカデミアや企業等での講演も多数行っている。



安田 洋祐

経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科准教授

1980年東京都生まれ。2002年東京大学経済学部卒業。最優秀卒業論文に与えられる大内兵衛賞を受賞し、経済学部卒業生総代となる。2007年プリンストン大学よりPh.D.取得（経済学）。政策研究大学院大学助教授を経て、2014年4月から現職。
専門は戦略的な状況を分析するゲーム理論。主な研究テーマは、現実の市場や制度を設計するマーケットデザイン。学術研究の傍らマスメディアを通じた一般向けの情報発信や、政府での委員活動にも積極的に取り組んでいる。
フジテレビ「とくダネ！」、関西テレビ「報道ランナー」にコメンテーターとして出演中。財務省「理論研修」講師、金融庁「金融審議会」専門委員などを務める。
著書・論文多数。



一色 さゆり

小説家

1988年京都府生まれ。東京芸術大学美術学部芸術学科卒業。香港中文大学大学院カルチュラル・マネジメント科修了。ギャラリー勤務を経て、美術館で学芸員として働く傍ら、執筆を行なう。2015年『神の値段』（宝島社）で「このミステリーがすごい！」大賞を受賞してデビュー。近著に『ピカソになれない私たち』（幻冬舎）、『コンサバター 大英博物館の天才修復士』（幻冬舎）など。

